



令和2年 秋冬号

# 市政レポート

vol.1

発行：柏市議会議員 桜田しんたろう

〒277-0814 柏市正連寺 373-1 FAX：04-7135-3821

市民に  
寄り添う  
市政。



# さくらだ 桜田 しんたろう

あたたかさあふれる  
市政の実現を!

柏清風所属（構成議員12名の保守系最大会派）。平成30年度決算審査特別委員会委員。常任委員会、総務委員会に所属。令和元年度決算審査特別委員会委員。

## 令和元年 定例会日程

- 第3回定例会 招集日 令和元年 9月 9日  
採決日 令和元年 9月 30日
- 第4回定例会 招集日 令和元年 11月 29日  
採決日 令和元年 12月 18日

## 令和2年 定例会日程

- 第1回定例会 招集日 令和2年 2月 21日  
採決日 令和2年 3月 17日
- 第2回定例会 招集日 令和2年 6月 5日  
採決日 令和2年 6月 24日
- 第3回定例会 招集日 令和2年 9月 4日  
採決日 令和2年 9月 29日

## 決算審査特別委員会委員としての主な活動

### 平成30年度

- 10月24日 総務委員会所轄分審査
- 30日 市民環境委員会所轄分審査
- 11月5日 教育民生委員会所轄分審査
- 7日 建設経済委員会所轄分審査
- 20日 総括審査
- 27日 報告書の取りまとめ、採決

### 令和元年度

- 10月21日 総務委員会所轄分審査
- 23日 市民環境委員会所轄分審査
- 27日 建設経済委員会所轄分審査
- 11月2日 教育民生委員会所轄分審査
- 16日 現地視察、総括審査
- 24日 報告書の取りまとめ、採決

## こんにちは。柏市議会議員の桜田慎太郎です。

令和元年8月の柏市議会議員選挙において私の地元の山中一男先生の後継者として初出馬させて頂き、無事に当選することが出来ました。本当にありがとうございました。

当選してから1年が過ぎましたが、活動報告をさせていただきます。

令和元年9月に初登庁し、その月の令和元年第3回定例会にて質疑並びに一般質問をさせて頂きました。

10月、11月は平成30年度決算審査特別委員会の委員として税金が正しく使われているのかの審査をしました。その後も12月の令和元年第4回定例会にて質問をし、令和2年第2回定例会、令和2年第3回定例会では、主に新型コロナウイルス感染症対策について、質疑並びに一般質問を議会にてさせて頂きました。

常任委員会としては、総務委員会に所属しました。

分からないことだらけで、まだ不慣れではございますが、志新たに頑張っていきたいと思っておりますので、ご支援ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



前柏市議会議員 山中一男氏

# 桜田しんたろうは、最初の令和元年第3回定例会にて初登壇！！



## 定例会 質疑並びに一般質問

Q … 桜田しんたろう

### 防犯・防災対策について

Q 防犯灯の維持管理を担う町会の管理区域に入っていない工業団地等での設置や維持管理はどうなっていますか。また柏市の補助制度は活用出来えますか。

A 町会等のない地域でも、防犯灯を管理する団体があれば、設置費の一部や維持費の補助が受けられます。管理する団体が存在しない場合は、新たに代表者を決めて新規に管理団体を設けて、市に補助金を申請することが出来ます。

Q 市内の豪雨災害時に冠水する可能性がある道路の現在の整備状況はどうなっていますか。

A 道路が冠水するほどの大雨が予見された際には、事前に重点的に集水桝などの排水設備の清掃を実施し、冠水の低減に努めています。特に過去に浸水した地域では、調整池や排水ポンプの定期検査を実施しています。また、今後は雨水幹線や準用河川の整備を進め、既存の排水施設の強化などを行い排水能力の向上をはかります。

Q 台風や豪雨時には倒木などにより電線や電話線、ケーブルの断線リスクがあり危険な状況です。事前の減災対策が必要ではないでしょうか。

A 街路樹や公園などの公共施設の樹々には定期的に剪定作業を実施することで倒木対策を行っています。また、枯れた樹木を速やかに撤去するなどして倒木のリスクを極力減らしてまいります。



### 消防・救急体制について

Q 過去10年間で救急搬送された方は増加しており、特に高齢者において増加が顕著です。この傾向は今後も増加すると推計されており、このままでは迅速な救急対応に支障が生じる恐れがありますが、どのように対策を考えていますか。

A 平成29年度より東部消防署の救急車を一台増車し、11か所の消防署に救急車12台の体制で対応しています。また、救急車の到着が遅れると予想される場合には、現場に近い消防署から消防隊が補完的に出動し、到着までの間に応急処置を実施しています。

### 教育行政について

Q 柏北部東地区新設小学校の整備について、ヒアリングを実施したそうですが、地域や学校・PTAからの意見はどのようなものでしたか。

A 大きく四点が挙がりました。まず、新設小の整備により、田中北小の早期の小規模化が懸念されるため、新設小を田中北小の移転新築とすることで伝統を継承してほしいというもの。二点目は通学区域の設定によって、町会や子ども会など既存の地域コミュニティが分断されない配慮をしてほしいというもの。三点目が田中北小の移転新築となる場合に、通学距離が遠くなる児童に対する通学距離延伸対策の検討。四点目が田中北小の移転新築とする場合には跡地を地域にとって有用なものに整備して欲しいというものです。教育委員会は保護者や地域の方々の合意は大変重要なものと考えていますし、特に田中北小の移転新築案については田中地域全体として周辺校にも配慮しながら慎重に検討してまいります。

Q 新設小学校の通学区はどうなりますか。

A 通学区域の設定は最終的には柏市通学区域審議会にて審議します。しかし、それまでに住民や学校関係者の意見を伺いながら、最大限に地域の方々の意見に寄り添ったものとなるように努めてまいります。

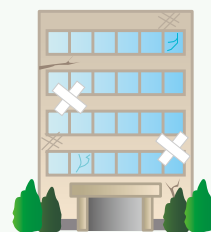
Q 田中小学校の建て替えの整備概要とスケジュールはどうなっていますか。

A 新設校の開校までの児童数の増加に対応するため、第一校舎を令和4年度からの共用開始に向けて建て替えます。これにより教室数は現在から8室増の39室になる予定です。

### 経済産業行政について

Q 柏公設市場は老朽化及び陳腐化が進んでおり、安全面や衛生面の観点からも早期の整備が必要ですが、どのように進めていく計画ですか。

A 青果棟の耐震改修工事及び花卉棟の建てかえ整備は終了しました。現在、青果荷さばき所を併設した立体駐車場の整備に向けた準備を進めています。また、水産棟については、耐震性の確保、また衛生面の改善及び量販店への対応といった施設機能の充実を踏まえた施設整備を進めていく予定です。市場整備は、資金計画や収支計画を見据えながら進めるとともに、場内事業者と十分に協議し、速やかに整備が行えるよう努めてまいります。関連食品棟についても老朽化対策や活性化対策が求められていることから、一部施設の改善を実施してきました。また、市場機能である卸売場とは別な形態で市民の皆様にも自由にお買い物や、食事を楽しんでいただけるような施設配置に向け、関係事業者と協議を進めてまいります。



Q 北部クリーンセンターの老朽化対策に今後どう取り組みますか。

A 稼働開始から28年が経ちますが、平成20年度から長期包括委託による運転管理・施設管理のもと計画的な維持保全を行うことで現在も安全で安定的な稼働を行っています。一方で、燃焼設備が毎年度補修工事を実施しているほか、それ以外の設備でも機器の消耗や劣化、保守部品の欠品が生じており、老朽化対策の検討が必要です。今後の対策方針等の検討にあたっては周辺住民の皆様の心情に配慮して取り組んでまいります。

## 子供行政について

Q 柏市の虐待対応件数は年々増加傾向にあります。児童相談所の早期設置が望まれますが、従事する高度な専門知識や技術を持つ人材の育成などを含め、どのように進めていく計画ですか。

A 本市が設置する児童相談所のあり方を検討するため柏市立児童相談所設置に関する懇談会を開催し、市が持つさまざまな関係部署からの情報や地域のネットワークを生かせる組織体制等を初め具体的な検討に着手を始めました。今後は、県の児童相談所職員を市の家庭児童相談所に派遣してもらうことで、日常業務に取り組む中で職員のアセスメント力を向上させることに繋がるのではと考えています。懇談会での御意見や人材の育成確保等の課題を踏まえ、適切に運営ができる体制を整えられるよう、開設時期も含めて引き続き検討を進めてまいります。

## 柏北部東地区新設小学校整備と通学区域

Q 先の定例会で柏北部東地区新設小学校のヒアリング結果について質問しましたが、学校規模の過度な大規模化や小規模化はそれぞれ様々な弊害があると考えます。児童にとって良好な教育環境を確保しつつ、地域コミュニティの維持や周辺校の学校規模のバランスに配慮する必要がありますが、その後の進捗状況をご説明ください。

A 学校の適正規模に十分に配慮して新設小学校の学区案の作成を進めています。ご指摘の通り、児童にとって良好な教育環境を確保することが重要ですので、田中北小の移転新築案も含め、改めて地域住民並びに学校関係者の方々からヒアリングを行います。



## 田中小学校通学路の安全確保・道路整備

Q 田中小学校の児童が車通りの多い道の横断歩道のない箇所を横断している現状がありますが、横断歩道の整備などの安全対策を講じることは出来ないでしょうか。

A 警察による現地調査が行われましたが、横断歩道の整備要件は満たしていませんでした。次善の策として、立て看板などによる運転者に対する注意喚起を検討するとともに別箇所への横断歩道の整備を警察と協議してまいります。

## 公共交通空白不便地域の早期対策・交通弱者対策・交通網の整備

A 市内全域に公共交通空白不便地域が存在しますが、今後どのような対策を取る方針ですか。

Q 現在、空白不便地域ごとに需要や民間送迎バスの状況など様々な観点から特性を分析したカルテを作成しています。令和元年度中に実地調査を行い、その上で優先順位をつけ、地域の足として持続可能な公共交通を検討していきます。

## 防災について

Q 9月、10月と台風15号、19号が上陸しました。利根川の水位も上昇し越流堤から遊水地である田中調整池にも越水し農業者や土地の利用者に甚大な被害を受けました。補助内容や支援状況をお示しください。

A 復興に向けた農業者の方の総事業費に対して、国から3割、千葉県から4割、市から2割の補助の支援を行います。田中調整池の水田では、来年の田植えに向けて稲わら等の撤去が必要ですので、台風被害に遭った農業者の方々の方が早期に農業を再開できるよう、速やかな復旧に向けた支援に努めます。



## 新型コロナウイルスに対する支援

Q 柏市独自の中小企業利子補給事業に信用保証協会の保証料補給も行えば更に利用しやすくなるのではなでしょうか。

A 信用保証協会の信用保証料への支援は引き続き検討しています。

Q 地方創生臨時交付金（国から市への交付金）の用途はお決まりでしょうか。

A 5月臨時会で承認された事業のうち、中小企業支援金、児童扶養手当受給世帯への支援金等、4つの事業を国に提出しました。

Q 外出自粛の影響により、事業者はテナント料金の支払いに困っています。家賃補助の支援はできないのでしょうか。

A 国の家賃支援策や市内事業者の経営状況を踏まえ、必要な事業者支援を検討します。

Q 医療機関への支援はどうなっていますか。

A 国、県の支援策を精査し、更なる支援が必要な点には今後柏市独自の支援策を検討します。

Q 介護従事者への支援はどうでしょう。

A 市内の介護障害者施設職員には感謝の気持ちとしてカタログギフトを準備しています。

Q 第2派に対する医療体制はどうなっていますか。

A 県の専門部会等へ参加し、必要な情報を収集して市内医療機関との連携を強化します。

Q 災害時のコロナ対策を踏まえた避難所開設運営はどうなりますか。

A 大勢の人が集まり、集団感染のリスクが高まることを想定し、災害の程度によっては在宅避難、または親族、知人・友人宅への避難をお願いし、困難な場合には感染対策物品を持ち出し避難していただく、そして、避難所では避難者の健康状態の確認、十分な換気、距離の確保に努めます。また、感染者の避難先として、協定を締結している旅館業組合に対し避難場所としての活用を打診しています。



- Q 人の流れと賑わいを取り戻し、地域を再活性化させる取り組みと、商工会議所や地元商店街と連携した消費喚起キャンペーンの実施やプレミアム付商品券事業等の計画は怎么样了か。
- A 事業者支援と並行して、消費喚起も重要になります。国の事業と連携し、取り組んでいきます。



令和2年  
第3回定例会

## 新型コロナウイルス感染対策と社会経済活動の両立について

- Q 中小企業利子等補給事業について、5年間の支払い利子に加え、保証料においても全額補助することになりましたが、申請期間はいつまでですか。
- A セーフティーネット4号の指定期間は国において9月1日までとしていましたが、12月1日まで延期されました。市の補助については、既に融資を受けている事業者、これからの事業者共に国の期間内であれば対象とします。
- Q 柏商工会議所青年部が主体で制作した新型コロナ対策チェックシート等を感染拡大防止と経済活動の両立を図るうえで周知すべきと考えますが、市の見解をお聞かせください。
- A 市のホームページの掲載に加え、活用が広がるよう周知していきます。
- Q ウチめし柏事業は、市内全域に配達可能となりましたが、今後の展開は怎么样了か。
- A チャレンジ支援補助金等の実施を通じて、市内事業者のビジネス創出を支援します。
- Q 飲食店以外にも市内小売業、理美容業やタクシー業などのサービス業全体を含めたプレミアム付き商品券発行事業は行わないのですか。
- A プレミアム付き商品券については柏市商店会連合会が企画を検討しており、市としても後援及び周知します。また、補助金の活用により、支援します。



## 防災対策について

- Q 8月23日の大雨において、内水被害や道路冠水がありました。排水管、雨水管の能力を超えた事が原因とのことですが、今後対応はどうされますか。
- A 過去の被害を踏まえ、雨水管等が未整備の地区を優先して計画的に対応を実施します。また、ハザードマップを配布し、施設整備のハード面と合わせて市民の生命第一に取り組めます。

## 区画整理事業について

- Q 柏北部区画整理事業内には、危険な道路や交差点が存在します。交通量は日に日に増えますが、県や県警と連携し、対策を講じられますか。
- A 道路利用者の安全を第一に考え、対策は実施していきます。

## 地域づくりについて

- Q 令和元年9月定例会にて、柏の葉地域においてふるさと協議会が設立される見込みとのことでしたが、現在の状況はどうでしょうか。
- A 設立総会が6月に開催予定でしたが、コロナの影響により協議の場が整わず、9月26日に設立総会が開かれる運びとなりました。

## 千葉柏道路について

- Q 千葉柏道路の整備効果について、お聞かせください。
- A 普通車両含む通過車両が千葉柏道路に転換されることで、渋滞緩和、利便性向上、経済活動の活性化が見込まれています。また、災害時の交通ネットワーク確保、救急、消防活動にも寄与いたします。今後も関係自治体と連携し、早期事業化を目指します。

地域の行事や視察などに積極的に参加し、皆様の声を直接伺い、これからも、柏市を盛り上げていく施策を推進してまいります。

桜田しんたろう後援会事務所 〒277-0814 柏市正連寺373-1  
FAX:04-7135-3821 <http://www.s-sakurada.jp> . . . . . ▶

